

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021 年 4-6 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 314 社から回答があった。景況判断 DI は▲18(前期調査から 7 ポイント改善)となり、4 期連続の改善となった。来期の見通しは▲17 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。景況感は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復しつつある。

経営上の問題点を見ると、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」、「需要の停滞」の回答割合が特に高かった。なお、「従業員の不足」は、増加傾向にある。

以下、その他業況感 DI の内訳

2021 年 1-3 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲13 で、4 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲13 で、1 ポイント悪化
- ・営業利益 DI は▲14 で、3 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲1 で、前期と変わらず
- ・借入難易度 DI は 7 で、1 ポイント改善
- ・設備投資 DI は▲6 で、2 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は▲3 で、3 ポイント改善

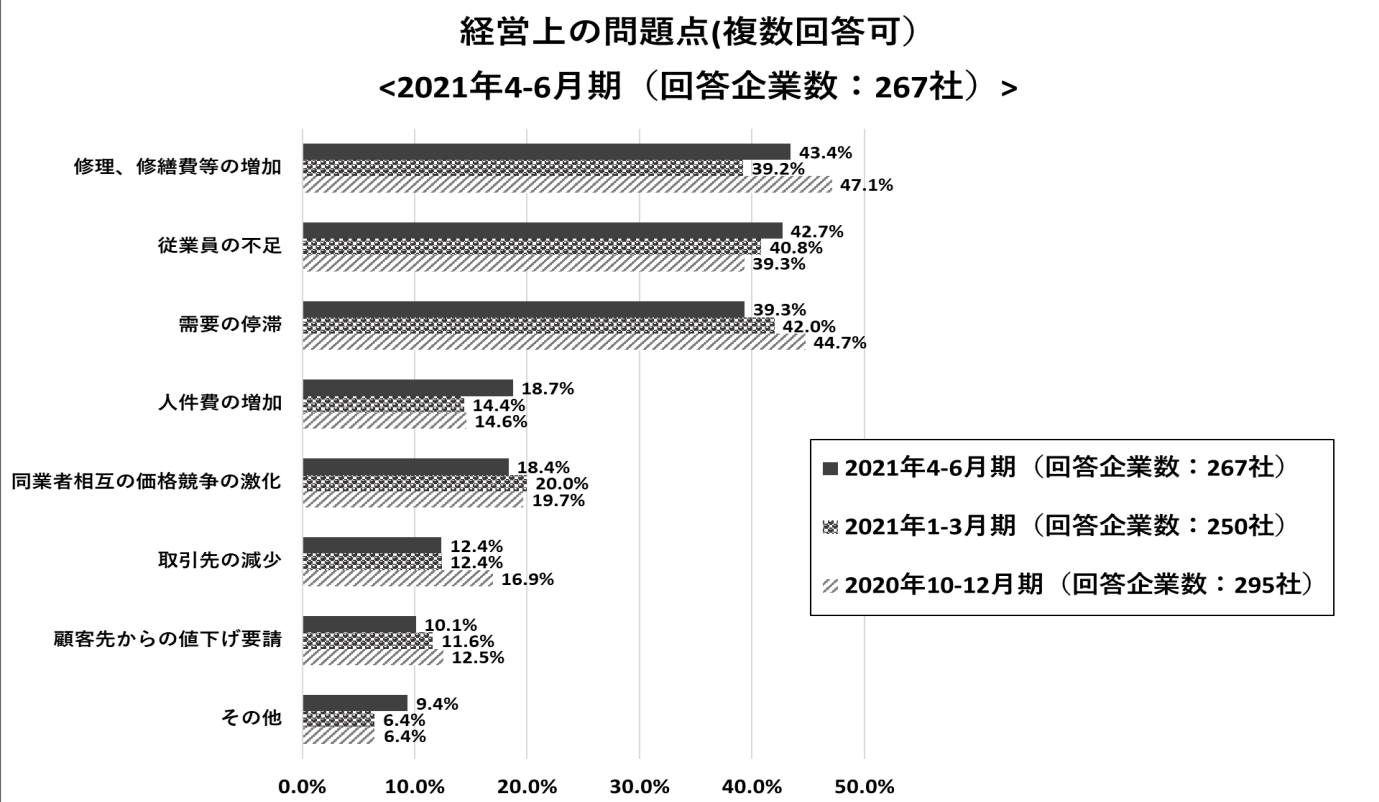
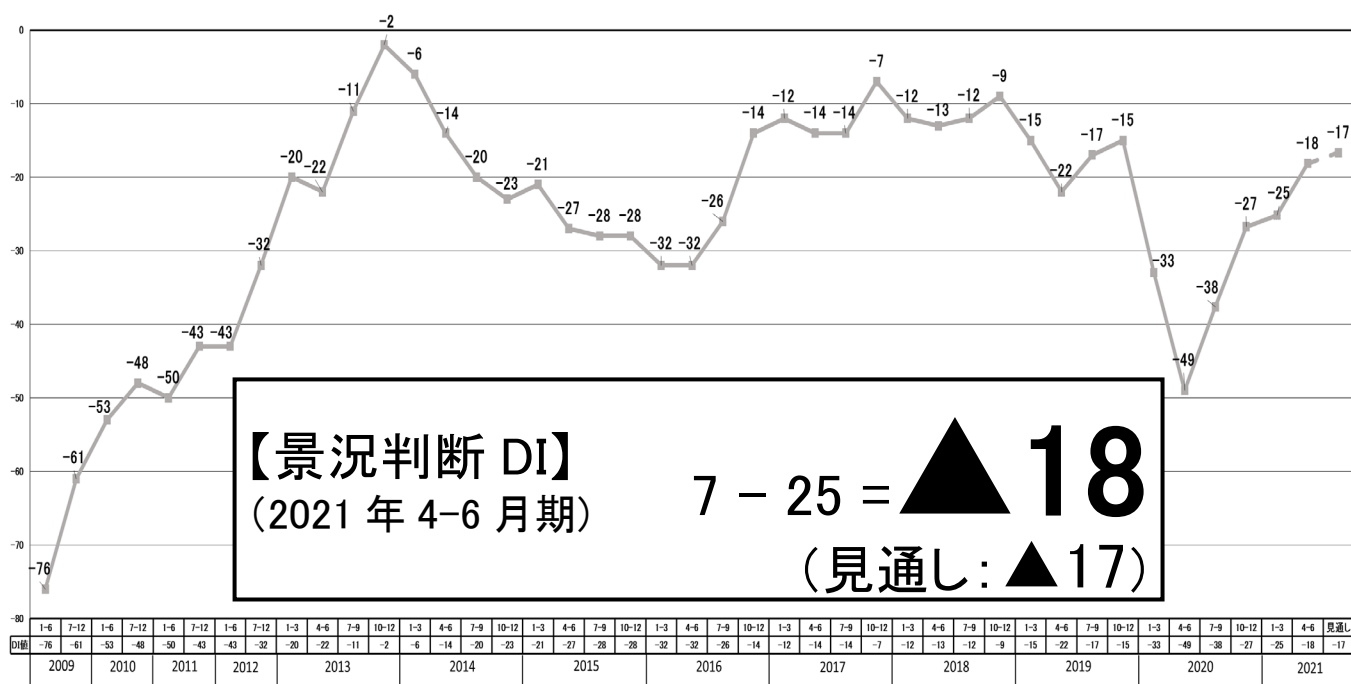
- 売上高の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 9.2%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 6.6%増となった。
- 経常利益率については、平均値が 6.8%で前期調査(7.1%)より悪化した。

※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

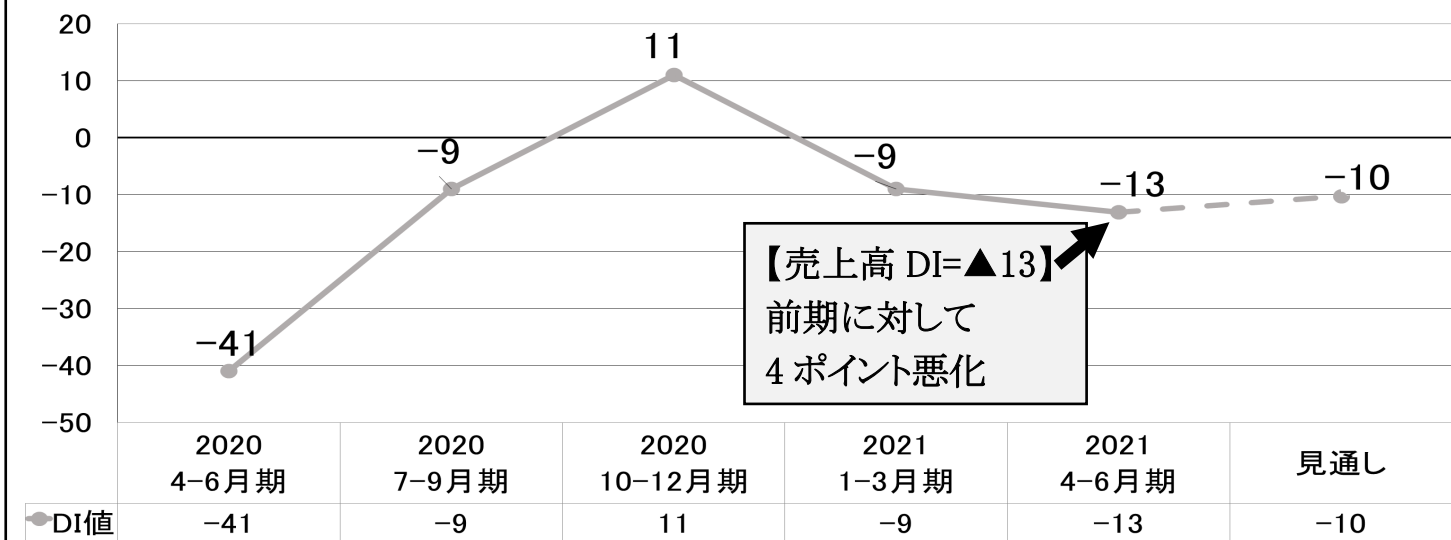
※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

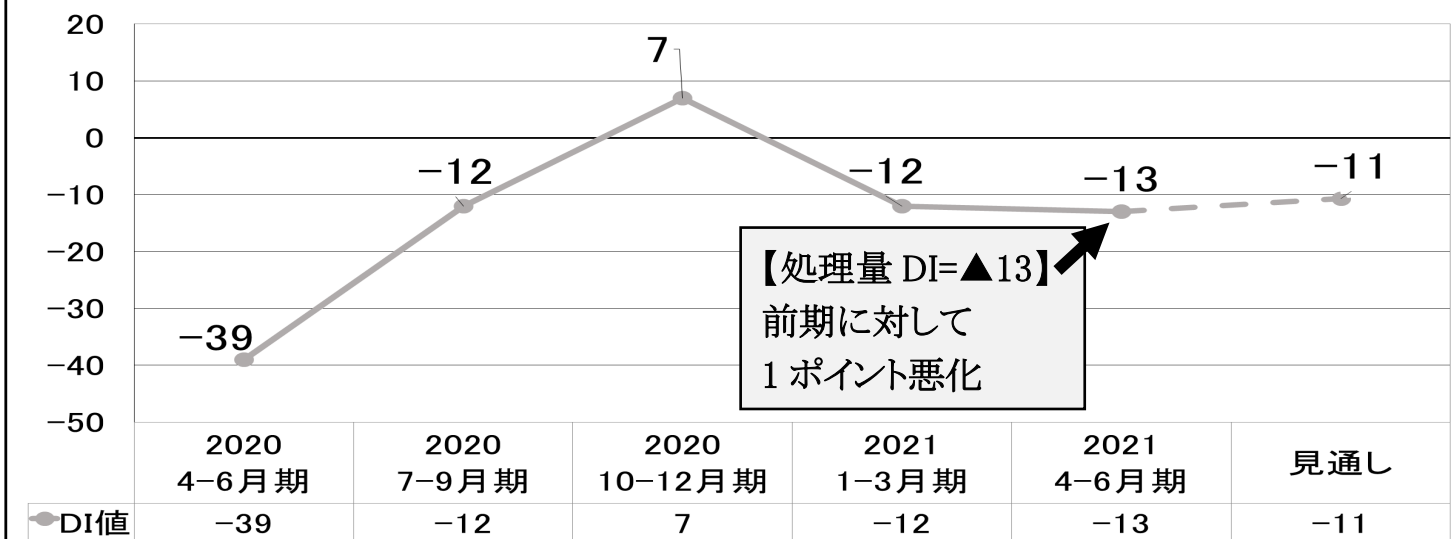
- 調査の対象:2008 年 10-12 月期で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:郵送によるアンケート
- 調査期間:令和 3 年 7 月 9 日～7 月 30 日
- 回答企業数:314 社



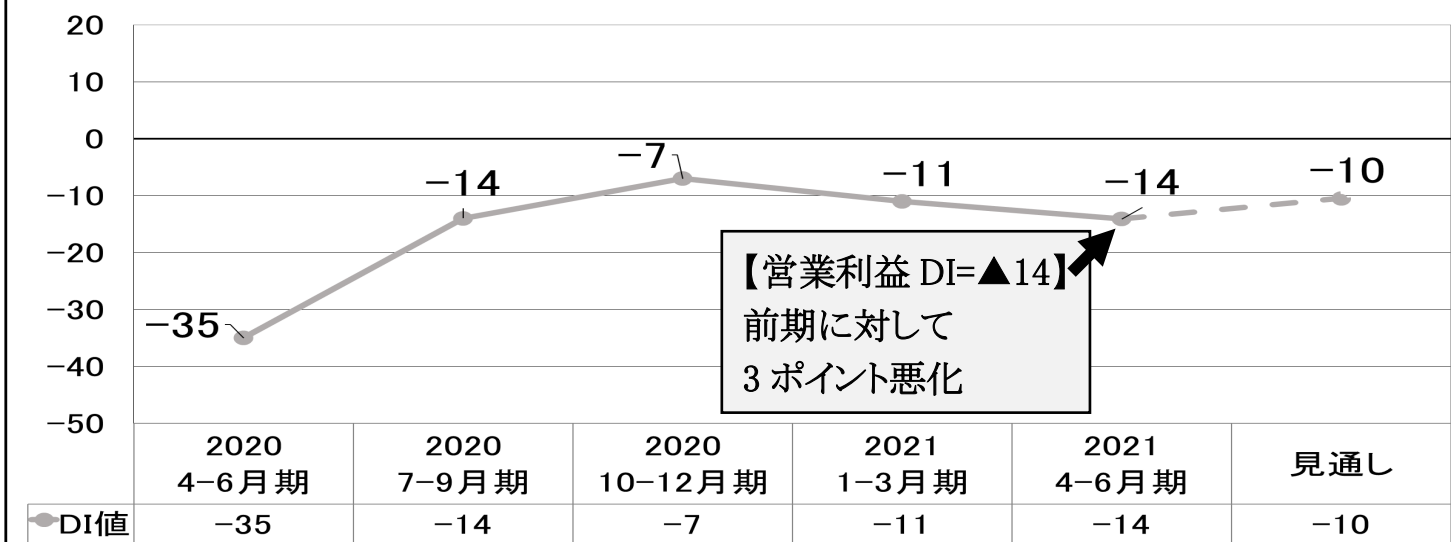
売上高DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



処理量DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)

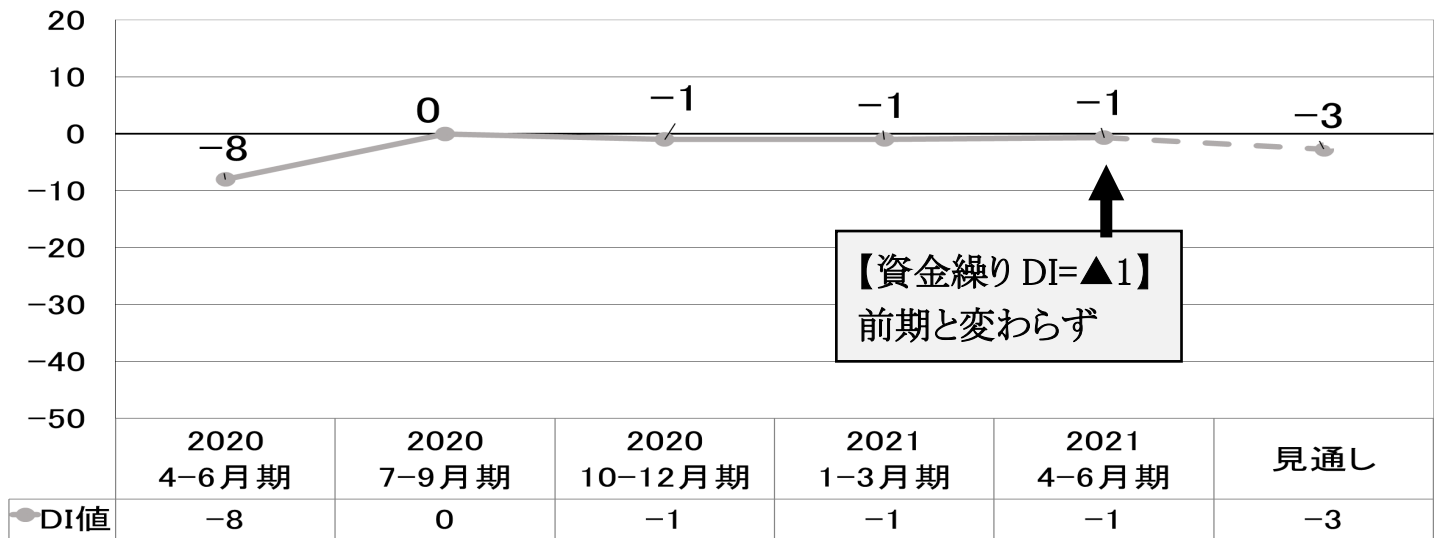


営業利益DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



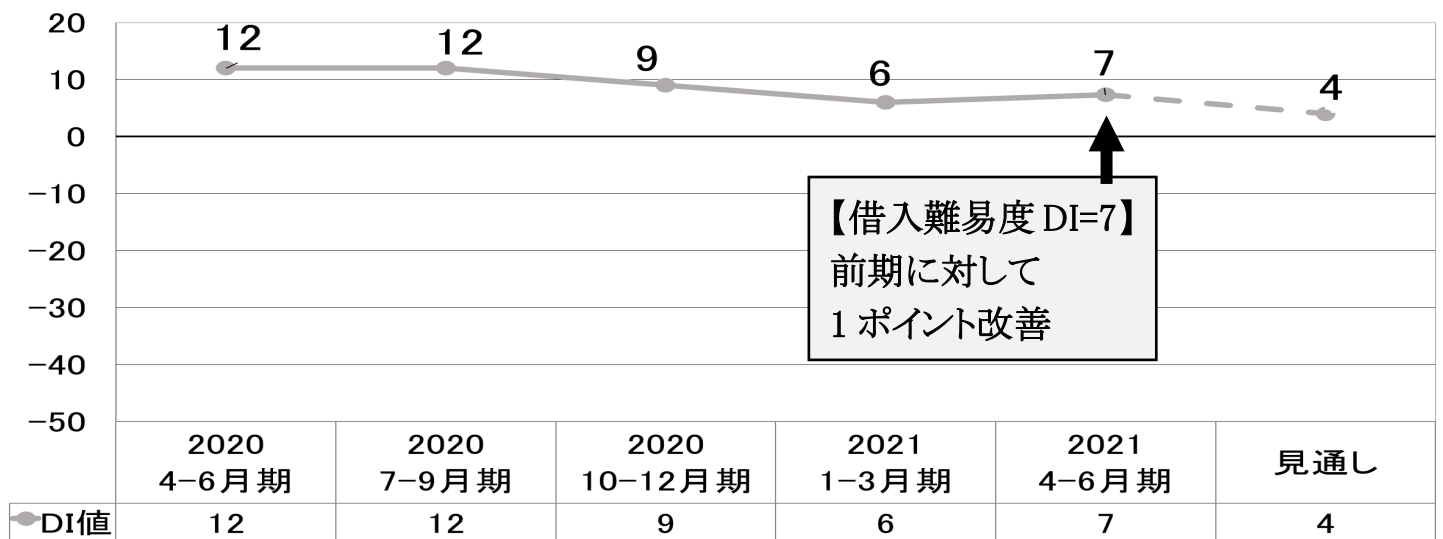
資金繰りDI

(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



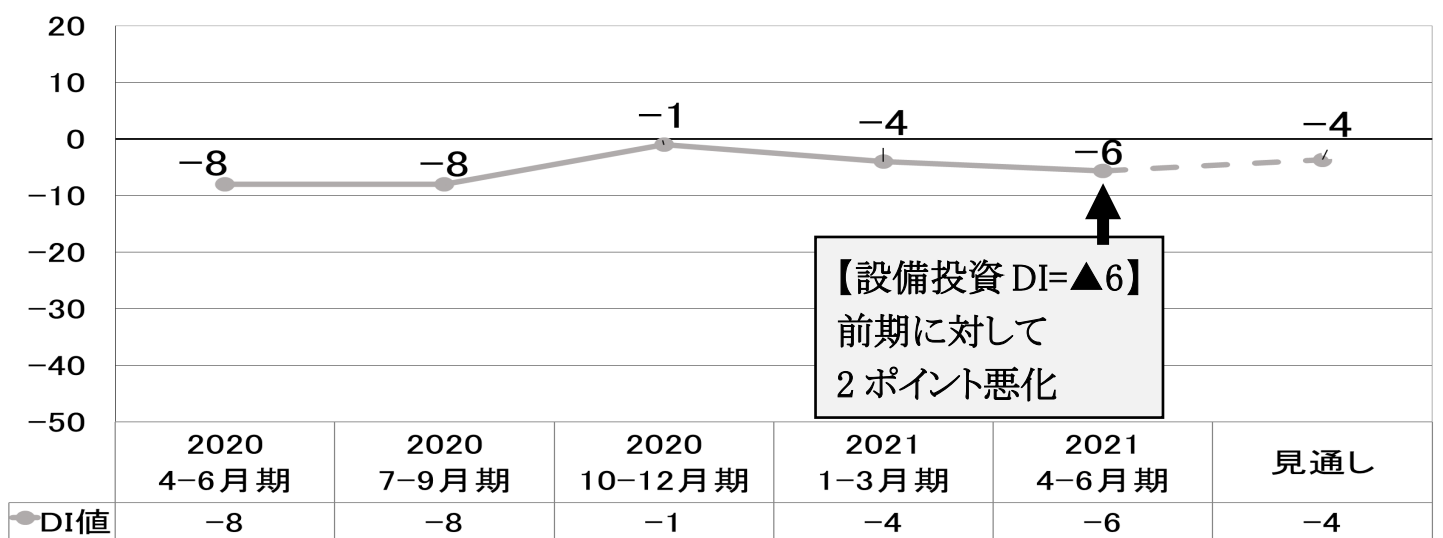
借入難易度DI

(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)

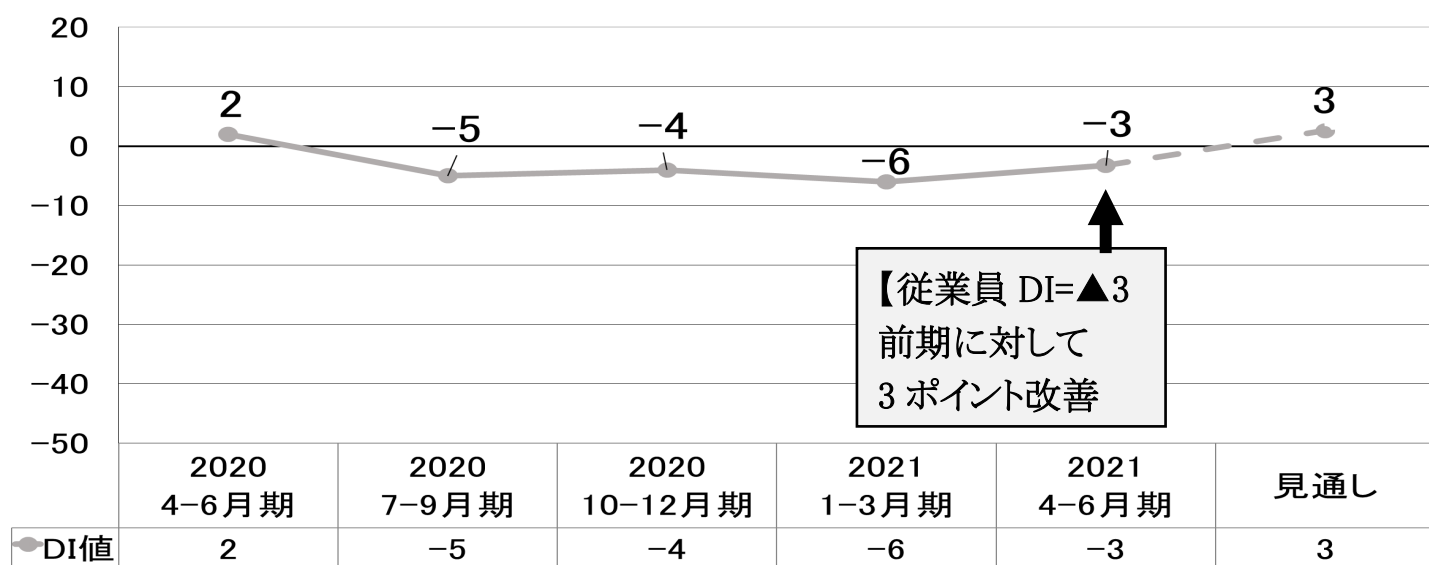


設備投資DI

(2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



従業員数DI (2020年4-6月期～2021年4-6月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

